

今年度も時代や地域を超えて人々の営みを紹介します。  
北米先住民の文化やササン朝ペルシアの文化は、現代社会の課題でもある環境適応や異文化接触について考える機会になるでしょう。  
戦前の中国の風俗人形や明治の引札は、当時の庶民のくらしだけでなく、人情の機微をも嗅ぎ取れるかもしれません。  
趣向を凝らした展覧会をご堪能下さい。 顧問 松田 真一



## 2018年度 展覧会

第 81 回企画展	<b>大自然への敬意 一北米先住民の伝統文化一</b> 4月4日(水)～6月4日(月)
第 82 回企画展	<b>中国の風俗人形 一近代以降の土人形と黄楊人形一</b> 7月4日(水)～9月3日(月)
第 83 回企画展	<b>華麗なるササン王朝 一正倉院宝物の源流一</b> 9月26日(水)～11月26日(月)
2019年新春展	<b>吉祥づくし明治の引札 一商家の広告印刷物にみる福德円満のかたち一</b> 2019年1月5日(土)～3月4日(月)

## トーク・サンコーカン（公開講演会）／ 記念講演会

◆ 時間：午後1時30分～ ◆ 会場：研修室 ◆ 定員：100名（当日先着順） ◆ 入館券必要

開催日	タイトル	講師	
4月21日(土)	米国南西部先住民ホピと 天理参考館所蔵資料との「再会」	国立民族学博物館准教授 伊藤 敦規 氏	企画展 講演会
5月26日(土)	北米先住民を知るための基礎知識	学芸員 梅谷 昭範	企画展 トーク
6月23日(土)	台湾先住民の織物と刺繍の今昔	学芸員 早坂 文吉	トーク
7月7日(土)	中国大陸でつくられた風俗人形	学芸員 中尾 徳仁	企画展 トーク
7月21日(土)	二次元・三次元で中国の文献を「読む」、「見る」	奈良大学名誉教授 森田 憲司 氏	企画展 講演会
9月22日(土)	華麗なる唐三彩の世界 — 天理参考館蔵品を中心に —	学芸員 青木 智史	トーク
10月6日(土)	ササン朝ガラスの東方伝播	林原美術館館長 谷 一 尚 氏	企画展 講演会
11月3日(土)	正倉院宝物に見られるササン朝文化	元宮内庁正倉院事務所長 米田 雄介 氏	企画展 講演会
11月24日(土)	ササン朝ペルシアの剣と冑	学芸員 巽 善信	企画展 トーク
1月19日(土)	明治の引札広告を絵解きする	学芸員 中谷 哲二	新春展 トーク
2月23日(土)	商家広告に見る不易流行と温故知新 — 引札とポスター —	青梅市立美術館学芸員 田島 奈都子 氏	新春展 講演会
3月16日(土)	大和の中世山城 — 十市氏の居館と山城から考える —	学芸員 太田 三喜	トーク

## 第81回企画展

# 大自然への敬意 ー北米先住民の伝統文化ー

4月4日(水)～6月4日(月)

アメリカとカナダで暮らす先住民の生活道具や工芸品を幅広く紹介します。ユニークな幾何学文様が散りばめられた土器、水も漏らさぬほど編み目が細かいバスケットなど、いずれも日本国内では収蔵例が少なく、貴重な民族資料です。展示を通じて、時に厳しい大自然の中、英知を絞り、自然を克服するのではなく、敬意をもって調和することを志向してきた北米先住民の伝統文化を感じていただければ幸いです。



水汲み壺 アメリカ 18世紀以降 高28cm

## 第82回企画展

# 中国の風俗人形 ー近代以降の土人形と黄楊人形ー

7月4日(水)～9月3日(月)

20世紀前半につくられた中国の風俗人形(天津の工房「泥人張」の土人形、上海の土山湾孤児院で制作された黄楊人形)および圓平人形を中心に展示します。

いずれも、農業・漁業、商売、遊戯・娯楽、冠婚葬祭など当時の中国の生活文化を巧みに表現した人形で、その中には現在ほとんど目にすることがない職業や風習も多く含まれます。さまざまな風俗人形を通して、かつての中国の暮らしの一端に触れてみましょう。



黄楊製風俗人形「楽器の演奏」1930年 上海 最大高7.5cm

## 第83回企画展

# 華麗なるササン王朝 ー正倉院宝物の源流ー

9月26日(水)～11月26日(月)



鍍金銀人物文八曲長杯  
イラン ササン朝6～7世紀頃 長28.2cm

3世紀に興り、約400年もの間、現在のイランとイラクの大部分を支配していた帝国がササン朝ペルシアです。制作された文物はシルクロードをわたり、所々で多大な影響を与えていきました。そして遠くは日本にももたらされているのです。正倉院宝物にはササン朝系文化が色濃く見られるものも少なくありません。

本展ではササン王朝の遺宝を通してその文化を紹介します。正倉院へと伝わる長い道のりとその悠久の歴史に思いを馳せていただければ幸いです。

## 2019年新春展

# 吉祥づくし明治の引札 ー商家の広告印刷物にみる福德円満のかたちー

2019年1月5日(土)～3月4日(月)

江戸時代末期から主に明治時代にかけて印刷された商家の広告印刷物である引札(チラシ広告印刷物)を展示します。なかでも年末年始に顧客に配る引札は、今日で言うところと新春を祝ぐ年賀状やカレンダーのような存在でした。厄除け招福・商売繁盛の願いを色濃く映し出した引札の絵柄(イラスト)をその画題モチーフごとにグルーピングして配列します。引札から豊年満作・商売繁盛・福德円満を願う庶民のすがたを垣間見ていただければ幸いに存じます。



和傘製造卸商(大分県)の引札 明治40年(1907)以降 縦38.3cm

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

# 天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料：大人400円/団体(20名以上)300円

小・中学生200円(学校単位の団体無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者各1名は無料

受付カウンターに障がい者手帳等をご提示ください

〒632-8540 奈良県天理市守日堂町250番地

TEL: 0743-63-8414 FAX: 0743-63-7721 URL: <http://www.sankokan.jp/>

天理参考館  
ウェブサイト

